

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	村レベルにおける不発弾事故被害者等に対する応急処置等の能力及び救急搬送体制の強化、ならびに回避教育の質の向上を通して、不発弾事故による被害を最小限にする。
(2) 事業内容	<u>(ア) 応急処置に関する冊子とパンフレット、ポスター、ビデオ教材の作成</u> 本事業第 2 期に作成した不発弾事故後の応急処置に関する冊子の内容を見直し改訂版を作成し、計画通り、村落保健ボランティア向けに 260 部、ヘルスセンター看護師向けに 80 部を印刷した。改訂版には、人工呼吸を必須としない最新の心肺蘇生方法を記載し、より抵抗なく心肺蘇生に取り組めるようにした。村落保健ボランティア向けの冊子については、より理解しやすいものとなるよう、文章や挿絵、説明順序等を変更した。ヘルスセンター看護師向けの冊子については、看護師が低血圧や頻脈等のショック症状を起こしていないかどうかの見極めに使えるよう、新たに大人と子どもの血圧・脈拍数の正常値の範囲を記し、また、外傷患者の重症化を防ぐための搬送方法や不発弾被害者の精神的ケアを行う際の留意事項を追加した。 また、村人向けに応急処置の要点を簡潔に図解したパンフレットと啓発用ポスター、紙芝居形式のフリップチャートを、それぞれ 2,000 部、200 部、260 部作成した。冊子やフリップチャート、パンフレットは下記 (ウ)・(エ) で述べる研修参加者に、パンフレットとポスターは、下記 (ウ) で述べる村人向け講習会参加者に配付している。ビデオ教材に関しては、シェンクワン県病院職員の監修のもと撮影・編集作業中である。編集後は、シェンクワン文化情報局の審査を受け、使用許可を得た後、各研修で使用、配付する予定である。 <u>(イ) ノンヘット (Nonghet) 郡・クン (Khoun) 郡の郡病院職員に対する研修指導者養成研修 (Training of Trainers: ToT) 及び第 1・2 期事業の対象郡を含めた 6 郡の郡病院に対する医療器材供与</u> 村落保健ボランティア及びヘルスセンター看護師能力強化研修に先立ち、それらの研修の講師を担うノンヘット郡とクン郡の郡病院の医師・看護師 (以下、郡病院職員) 計 8 名 (各郡病院 4 名) を対象とした 6 日間 (8 月 12 日～15 日、19・20 日) の ToT 研修を実施した。ToT 研修の講師は、県保健局、県病院職員、県 UX0-Lao 医療班長が務めた。事前に講義内容や使用する資料に関し講師と協議し、特に最新の心肺蘇生方法については、繰り返し手順を確認した。ToT 研修には、応急処置に関する内容の他に、教授法に関する演習も含め、郡病院職員は効果的な説明方法や研修参加者の理解の確認方法等について学んだ。 ToT 研修後、研修に参加したクン郡病院職員が講師となり、9 月から 11 月までにヘルスセンター看護師能力強化研修を 2 回、村落保健ボランティア能力強化研修を 8 回実施した。自分の経験を織り交ぜ

て説明を行う等、参加者が興味を持ちやすいように工夫をして研修を進めた。12 月からはノンヘット郡病院職員が同様に各研修を実施する予定である。

また、本事業の対象 6 郡の郡病院のうち 4 郡の郡病院に対し、外傷処置に必要な医療器材（ピンセット、医療用はさみ、搬送用ベッド等）を供与した。残り 2 郡の郡病院に関しても 12 月中に供与を行う予定である。

（ウ）ノンヘット郡・クン郡の村落保健ボランティア能力強化研修及び救急キットの配付

ToT 研修に参加した郡病院職員が講師となり、クン郡の 76 村の村落保健ボランティア 136 名に対して、不発弾事故に特有な怪我の種類や心肺蘇生方法、止血や骨折時の処置、火傷や目の怪我に対する処置、患者の搬送方法等に関する 3 日間の研修を実施した。研修終了時には、参加者に対し、包帯やガーゼ、消毒薬等が入った救急キットと研修内容をまとめた冊子を供与した。当会現地職員による医療専門用語の補足説明や、少数民族が多い村での現地語の使用により、参加者の理解促進につとめた。ノンヘット郡での研修は 2014 年 2 月から開始する予定である。

研修終了後には、当会現地職員や郡病院職員、政府調整員からなる村落巡回チームが、特に不発弾被害の多い対象 15 村のうち 11 村を巡回し、研修後の村落保健ボランティアの活動について聞き取り調査を行った。救急キットを使用した例はまだ見られなかったが、研修で不発弾被害者の精神的ケアの重要性を学んだことをきっかけに、村にいる被害者の訪問を始めた村落保健ボランティアもいた。巡回時には、村人を対象とした講習会を開催し、村人にも心臓マッサージを実践してもらう等、迅速かつ的確な応急処置の重要性について説明した。クン郡の残りの 4 村についても、計画通り 12 月中に訪問する予定である。

（エ）ノンヘット郡・クン郡のヘルスセンター看護師能力強化研修及び医療器材供与

ToT 研修に参加した郡病院職員が講師となり、クン郡にある 8 のヘルスセンターに勤務する看護師 27 名の内 26 名（1 名は就学中のため欠席）に対して、心肺蘇生方法や血圧測定方法、大量出血による出血性ショックのアセスメント方法やショックを改善するための点滴開始時期、経口摂取が可能な場合の経口補水液の作り方、他の医療施設に搬送する際に記録すべき患者情報等に関する 4 日間の研修を 2 回に分けて実施した。最新の心肺蘇生方法については、改訂された経緯の説明や参考資料の配付により、参加者の理解促進につとめた。研修が終了したヘルスセンターには、医療器材（ピンセット、医療用はさみ、器材消毒用機器等）と、応急処置手順等についてまとめた冊子を供与した。ノンヘット郡の 14 のヘルスセンターに対する研修と医療器材の供与は、計画通り 12 月以降に行う予定である。

	(オ) 地雷・不発弾回避教育用教材の作成 本事業第 2 期に改訂した回避教育ポスターを増刷する予定であったが、現地提携団体の UX0-Lao より、小学生向けのポスターを新たに作成してほしいとの要望が出された。現在、同ポスターのデザインを検討中である。また、回避教育時に配付する、回避メッセージをあしらったノートの作成も同時に進めているが、ポスター内容の変更により、やや遅れが生じている。不発弾の危険性や回避を呼びかける歌については、国家規制局の許可を得たのち、12 月 5 日 UX0-Lao に提供した。今後 UX0-Lao での回避教育活動で活用してもらうとともに、シェンクワン県のラジオ局へも提供し、普及を図る。
(3) 達成された効果	(ア) ノンヘット郡・クン郡の郡病院職員研修指導者能力強化 ノンヘット郡・クン郡の郡病院職員計 8 名が、研修指導者養成研修に参加した。実力テストの平均正解率は研修前の 70%から研修後は 93%に上昇した。 また、クン郡の郡病院職員 4 名が、村落保健ボランティア及びヘルスセンター看護師を対象とした応急処置研修を行うことで講師としての指導技術を習得した。村落保健ボランティア、ヘルスセンター看護師能力強化研修の参加者の満足度は、それぞれ 87%と 84%であった。 (イ) 県内 6 郡の村落保健ボランティアの能力強化 クン郡の村落保健ボランティア 136 名が応急処置研修を受け、うち 90%の参加者が、研修後の実力テストにおいて 70%以上の正解率を得た。 (ウ) 県内 6 郡のヘルスセンター看護師の能力強化 研修を受けたクン郡ヘルスセンター看護師 26 名全員が、研修後の実力テストにおいて 70%以上の正解率を得た。 (エ) 地雷・不発弾の回避教育活動 今後、ポスターや回避教育用の歌の回避教育等での活用が見込まれる。
(4) 今後の見通し	ノンヘット郡にてヘルスセンター看護師、村落保健ボランティアの能力強化研修及び村人への講習会を実施する。ヘルスセンターに対しては研修終了後に医療器材を供与し、村落保健ボランティアには研修時に救急キットを配付する。応急処置に関するビデオ教材については、ノンヘット郡の村落保健ボランティア研修から使用が開始できるようビデオの撮影・編集を行うとともに、文化情報局の許可取得に向けた手続きを進める。不発弾回避教育用のポスターとノートの作成については、1 月中にデザインを決定し、国家規制局の許可を取得する。作成後、UX0-Lao に供与し、回避教育活動にて配付する。